

# IT 投資への取り組み

当行では、IT 投資を競争力の重要な源泉と認識し、経営の最重要事項の一つと位置付けています。このため、総経費を抑制運営するなかでも、競争力向上に不可欠なシステム開発投資については投資対効果を厳しく見極めつつ確保しています。

投資内容としては、ネットビジネス対応のための投資、データベースマーケティングに必要な顧客データベース整備のための投資、リスク管理体制の高度化を図るための投資、事務効率化のための投資などを行っています。例えば、現在の最大規模の投資案件の一つに、イメージ技術を活用し、事務の大幅な合理化を可能にする新営業店システム、「WIT（ワークフロー・イノベーション・ターミナル）」がありますが、その導入によって、数百人規模の人員削減効果を見込んでいます。

なお、平成 11 年度の業務グループ別投資金額は、個人業務グループが全体の約 4 割を占め、最大の投資シェアになっています。また、こうした投資に対応して、平成 11 年度に支出した IT 関連支出金額（経費ベース）は、500 億円強となっています。

㈱さくら銀行との合併以降は、両行で重複し、削減可能であるシステム投資については削減を図っていく一方、その分の金額を戦略的な IT 投資のために振り向けていく考えです。

平成 11 年度以降の主な投資案件

個人業務グループ	新営業店システム（WIT）、テレホンバンキング機能拡充・同センター増設、インターネットバンキング機能拡充、顧客情報ファイルシステム拡充、ATM 更新
法人業務グループ	被振込専用支店（バーチャルブランチ）増設
国際業務グループ	新国際勘定系システム
市場営業グループ	証券円資金システム、為替ディーリング支援システム
その他	決済リスク削減システム、信用リスク管理システム、ネット決済サービス、オンラインデビットサービス、日本版 401k 対応

業務グループ別投資金額のシェア

（平成 11 年度）

